

平成25年度第3回北海道立生涯学習推進センター運営協議会専門部会 会議録要旨

1 日時

平成25年12月2日(月) 10:00~11:30

2 場所

道民活動センタービル8階 創作実習室

3 出席者

(1) 北海道立生涯学習推進センター運営協議会専門部会の委員：6名

三上委員(部会長)、今委員、佐藤委員、西澤委員、町田委員、民部委員

(2) 北海道立生涯学習推進センター職員：6名

道立生涯学習推進センター工藤主幹、同天山主幹、同牧田主査、同本田主査、  
同柳田調査員、同米澤主任

(3) 傍聴者：なし、報道1社

4 議事

ほっかいどう学インターネット講座(仮称)について

5 議事概要

(以下、発言順の記載 ○委員 ●事務局)

**議事** ほっかいどう学インターネット講座(仮称)について

●：(協議資料により説明)

○：制作にあたっては、制作のフローを明確にして、どの時期にこういった作業が必要かを明示する必要があるのではないかと思います。

テレビ講座では、どういう流れで制作していたのでしょうか。

●：撮影の時間は同程度ですが、打ち合わせやリハーサルなど事前準備を手厚く行っています。

○：今回視聴して頂いた講座について、御意見はありますでしょうか。

○：操作ボタンに表示がなく、少しわかりづらいように感じました。

●：こちらは変更可能ですので、今後、利用しやすさに配慮して制作します。

○：感想になりますが、目先が変わり、飽きない工夫がされているように感じました。また、受講者にとっては、カメラ目線で話してもらえることが大事なのではないかと思えます。カメラの下に、原稿などを表示させて撮影できればよいのではないのでしょうか。

○：テレビと違って、自分で画面を切り替える必要がありますが、その部分はどのようにか。

○：インターネットに不慣れな方もいらっしゃると思いますので、一概には言えません

が、自分で操作することで、講師の先生とのつながりができるように感じました。

- ： 講座では、写真が多く使われていましたが、字幕がなければ、わかりづらい面があるように感じます。本番では、字幕が入るのでしょうか。
- ： 入ります。
- ： 資料3の留意点では、「講師が資料を補うテロップ等の原稿案を作成する」とありますが、こういったテロップが必要で、どう活用するのが効果的かということは、講師よりも映像制作のプロフェッショナルに任せてしまった方が、よい講座になるのではないのでしょうか。
- ： DVDでは、自分で画面を切り替えることが難しいのではないかと思います、どのような内容になるのでしょうか。
- ： 資料部分は表示せず、講座だけを再生させることを考えています。
- ： DVD利用者はインターネットを介して資料をダウンロードできませんが、その部分については、どう対応されるのでしょうか。
- ： 資料をダウンロードできない視聴者への対応についても、検討していきたいと思います。
- ： 普及啓発の方法の中に動画投稿サイトの活用がありますが、そこでも動画の切り替え等は可能なのでしょうか。
- ： 講座部分のみとなります。
- ： フルスペックでの提供はホームページのみとし、動画投稿サイトやDVDでの視聴は制限されたものとする反面、多様なアクセスを可能とするということですね。  
先ほど、受講者が自分で画面を切り替えるなどの操作をすることにより、講師とのつながりを感じるというお話がありましたが、インターネットの特性を生かすことで、その場で講義を受けているような感覚を持てるなどのメリットもあるのではないかと思います。そうした面でも、システムの可能性については、今後も検討して頂きたいと思います。
- ： 市町村がどう関わっていくかが、普及についても重要な役割を持つのではないかと考えています。高齢者大学での利用についても考えたいと考えていますが、DVDをインターネット講座の普及に向けての広報の手段として活用することもできるのではないかと考えています。
- ： 名称についてですが、文書で読むことについては、問題ないと思いますが、言葉として聞いた場合、「ほっかいどう学大学インターネット講座」は、北海道大学のインターネット講座と認識されてしまうのではないのでしょうか。  
文節で区切るとしても、表記をわかりやすくした方がいいのではないのでしょうか。
- ： ポスターやチラシでは、これまでも“ほっかいどう学”の部分を「」でくくるなどの工夫を行っていました。要綱等の表記については、今後、検討していきたいと思います。
- ： 道民カレッジの中のインターネット講座ということを知るような名称がよいのではないのでしょうか。
- ： 講座開始時にテーマソングなどの挿入があるのでしょうか。
- ： 音楽についても検討していきたいと思います。